

栃木県社会福祉士会会報

56号

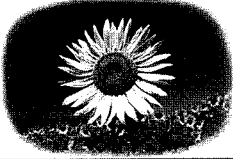


〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会
 TEL 028-600-1725 発行責任者 松永千恵子
 FAX 028-600-1730 編集責任者 福原 健治
 ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

発行日 令和3年7月20日

羅針盤

コロナ禍における新たな取組み



「こどもおべんとう」への社会福祉士の関わり

社会福祉法人京福会 特別養護老人ホーム寿山荘

施設長 渡邊 学



羅針盤	1
トピック	2~3
コロナ禍における「生理の貧困」にも救済を	3
会長の視点	4
福祉士おもしろいだけリレー	4
授産製品・店舗紹介	5
今日の一冊	6
福祉士会通信	6~8
講師派遣事業のお知らせ	8
栃木県社会福祉士会メールマガジン登録のご案内	8
会報についてのご意見募集	8
編集後記	8

今年3月よりNPO法人「子どもの育ちを応援する会」と那須塩原市内で宴会場を営む榊原会館が協同で「こどもおべんとう」を立ち上げた。これはいわば子ども食堂のお弁当配布バージョンである。那須塩原市内に子ども食堂は複数あるが、感染対策のために活動を休止したところや、自宅から遠いため小学生がひとりでは行けない場合もある。それならばとNPOと飲食店が、教育委員会や校長先生等のご理解を得て、共英小学校の通用口で毎月第2日曜日の午前10時より100食のお弁当を配る活動を始めた。お弁当の食材費は寄付や食材の寄贈で賄われており、調理も配布もすべてボランティアによるもの。配布対象に制限はなく事前予約は不要だ。これはお弁当を受け取る方への偏見を取り除くため、子どもは誰でも無料、大人はひとつ500円で販売している。毎回開始わずか1時間で完売するほどの人気だ。同時に食品の無料配布（フードパントリー）も行っているが、こちらの食品も寄附や寄贈により集められたものである。

このプロジェクト開始の情報を得て、小学校の近隣の特別養護老人ホームとして何かお役に立てないかと思い参加した。感染対策で事業運営に様々な制限を課す状況下でどこまでの協力が可能か葛藤はあったが、困窮家庭の実情を知り、社会福祉士として積極的に貢献すべきという気持ちになった。

私自身もボランティアとして参加する他、取引先に食材の協賛を依頼し、職員に寄付金やボランティア参加を呼びかけ、地元の商工会等にも広くご支援をお願いしている。好意的な反応が多く、支援の輪の広がりを感じている。特養は介護保険事業所としての機能の他、このような活動をバックサポートすることが十分可能だと思う。

コロナ禍の影響はより一層深刻化するものと思われる。社会福祉士の専門性を発揮し、地域の貧困問題の解決の一助になりたい。

